

令和5年度 第2回平塚市地域公共交通活性化協議会

1 日 時

令和6年3月22日（金）午後2：00～午後3：40

2 場 所

平塚市役所本館6階619会議室

3 出席者

○ 委員

津田委員、吉田委員（代理 山根氏）、佐藤委員、井上委員、野本委員、松田委員、田中（信）委員、藤原委員、岩崎委員、田中（勉）委員、梶田委員、最上委員（代理 臼井氏）

○ 事務局

武井まちづくり政策部長、若林交通政策課長、交通政策課 長谷川課長代理ほか担当3名、福祉総務課 西山課長代理

4 会議の成立

平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項に基づき、委員の過半数の出席により成立

5 傍聴者

1名

6 議 題

- (1) 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況について
- (2) 平塚市自動運転バス実証実験の取組み状況について
- (3) その他

7 議事録

次ページ以降に記載のとおり

○ 議事録

会長	議題1の、「平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1、1-1～8について事務局から説明)
会長	平塚市地域公共交通網形成計画に基づく実施状況及び評価指標に対する最新の実績値について、資料に基づいて説明いただきました。何かご意見ご質問等がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	<p>今回、評価指標に対する最新の実績値を示した資料を出していただいたのは、これまでの会議で出ていた意見を反映したものかと思いますが、「資料1 地域公共交通網形成の施策等の一覧」に記載されている具体の施策内容と評価指標が合致していないものもあります。</p> <p>平塚市地域公共交通網形成計画は令和元年度から令和9年度までの計画であり、ちょうど半ばを過ぎたところでもあるので、そろそろ全体の進捗状況等を確認し見直しを行っていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>前回会議での委員からのご意見を踏まえ、今回評価指標に対する最近の実績値をお示ししたところですが、現状で具体的に方向性が定まっていないものもあります。例えば①鉄道の利便性向上の促進については長期的な課題でもあるので、市だけでなく近隣市町村や平塚商工会議所等とも連携を図りながら要望を継続しておりますので、そのあたりの取組については期限など詳細な部分について記載が難しい所です。</p>
委員	<p>具体的な施策と評価指標を完全に連携させるのは難しいかと思いますが、具体的に方向性が定まっていない、長期的な課題であるものはその旨記載するなどしておけば、問題はないかと考えます。</p>
事務局	<p>この後の報告事項においても説明させていただくのですが、令和6年度中に平塚市地域公共交通網形成計画の中間評価を実施する予定ですので、その際にご意見の反映について検討していきたいと思います。</p>
会長	<p>「資料1 地域公共交通網形成の施策等の一覧」に記載されている具体の施策内容については代表的なものを記載しているかと思いますが、必ずしも評価指標と合致しているものではないかと思いますが、計画全体としては評価指標を基準に考えていただき、細かい部分については進捗状況を見ながら適宜修正を行っていくなどして進めていけたらいいのではないかと思います。</p> <p>東海大学駅前のロータリーについて、委員から現在の状況をお聞かせいただけますでしょうか。</p>

委員	<p>東海大学前駅ロータリーについては、ロータリー内で転回できない構造上、バス路線の新設が難しい状況です。また、昨今の運転士不足から完全に新規で路線開設ができない状況でして、現在平塚市さんと秦野市さんとも、既存路線を再編し、東海大学前駅方面に向けて新しく路線を引けないかという協議をさせていただいています。</p> <p>今、秦野市さんの方で、東海大学前駅ロータリーにバースを1つ増設するための予算確保に向けて動いているという事を聞いておりますので、状況を見ながら、随時協議を進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。バースが増設されバス路線が増えれば、通学する大学生の利便性なども向上していくかと思っておりますので、ぜひ取り組んでいただければと思います。神奈川大学跡地の路線の状況についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>神奈川大学跡地の路線については、便によっては沿線バス停近隣の就業施設の利用もあり、朝の時間帯とかは20人程乗っている便もあるのですが、それ以外の平日日中や土日の便に関しますと、片手で数えられるくらいの利用状況です。</p> <p>このまま現在の便数を維持していく事は厳しいところではありますし、跡地の利活用もまだ見えていませんので、跡地の利活用について方向性が定まり次第、今後の方針について平塚市さんと相談しながら、また地域に入りながら、決めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。昨年8月にバス利用促進の回覧を各戸配布したとのことですが、地域の認知度などの状況について分かれば教えていただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>回覧配布後で9月の利用状況は、神奈川中央交通さんに伺ったところでは、土曜日に限ってですが利用者が増えているような状況がありました。ただ、昨年8月以降は配布しておりません。今後、定期的に配布していくというのはバス利用促進に対する有効な手段なのかなと思っておりますので、土屋地区及び吉沢地区の意見交換会の中でも、引き続き定期的に回覧を配布し周知を行って行くことについて、合意をいただいている状況です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今後定期的に配布していく中で、利用者が増えたらそれを回覧で周知したり、逆に利用者が減ったら厳しい状況を周知したりするなど、周知のやり方を工夫していくことも効果的かと思っております。大変とは思いますが、意見交換や周知を行っていきながら、次のステップに向けて、進めていただければと思います。</p> <p>その他ございませんでしょうか。</p>

委員	資料1-3について、市内全域において「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」の説明は終了したということで、来年度からは、岡崎地区となでしこ地区を対象として取組みをやっていくという認識でよろしいでしょうか。
事務局	岡崎地区となでしこ地区に限定したものではなく、約3年かけて市内全域に説明をしてきた中で、地域内で課題解決に向けて興味を持っていただき現時点において次のステップに進めていけそうところが、この2つの地区かと考えていますので、また今後も同じような地域から要望等があれば、2つの地区での意見交換を水平展開し、全地域に広げていければと考えております。
委員	「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」を見ると、地域の困りごと解決手順としてステップ0から4まであるのですが、ステップ0が終了しステップ1に入ったという認識でよろしいでしょうか。
事務局	はい。今後はまだ具体的に地域の皆様と何をしていくのかは決まっていないのですが、地域のニーズなどを意見交換しながら、何がその地域に適した地域内交通なのか議論していきつつ、議論の1つの参考になるよう他市の取組事例の紹介なんかもさせていただければと考えております。
委員	この「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」が住民主体で地域内交通について考えていくための資料ということで、なかなかわれわれ一般市民にはこのような情報が下りてきません。この資料を見ると良いことが書かれてありますし、うまく利用していければいいのではないかと考えておりますので、資料の周知のやり方なんかも、うまく考えていただければと思います。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。
会長	ありがとうございます。地域内のラストワンマイルということで、グリーンスローモビリティや地域内移送支援など様々な種類がありますので、意見交換していくことでより良い移動手段の確保について取り組んでいただければと思います。 住民主体の地域内移送支援については、これから地区が増えていくような雰囲気はありますでしょうか。
事務局	交通政策課や地域のNPO関係団体からは導入してみたいと思っている地区があるというのは間接的に伺っておりますが、運転中のリスクやドライバーの担い手などの問題から協力してくれる方がなかなかいないようです。地域内の助け合いの必要性などを少しずつ地域に周知しながら取組を進めていかなければいけないと考えております。

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。 今地域内移送を行っている地域での取組みについて取組維持の支援や周知をやっていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。 ライドシェアに関しては、何か情報等がありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ライドシェアについては、今年4月以降に東京近郊で行う予定で進めているとのことです。曜日や時間を限定し、ドライバーはタクシー事業者で管理するとのことで伺っています。しかしながらタクシー事業者でもともと雇用しているドライバーの雇用を守っていく面でも、導入にあたっては少し慎重にならないといけないと感じています。 しかし、都心部や地方部に関係なくタクシードライバーが足りない時間帯もありまして、その時間帯を補うという面では今後導入を検討していかなければならないと県タクシー協会からは伺っているので、まだ様子見の状況です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。グリーンスローモビリティの視察に行かれてどうでしたか。</p>
<p>事務局</p>	<p>東京都葛飾区の事例視察に関してですが、葛飾区ではボランティアドライバーを確保していて、利用者も高齢者に限らず誰でも乗れるということで進めているようです。グリーンスローモビリティの運行速度は時速約20kmということで、自転車と同程度のスピードになりますので、高齢のボランティアドライバーが運転したとしても比較的安全性は高いのではないかと思います。 地域内移送支援について、自家用車の運転について安全面から懸念があるという声を説明会の中でお聞きすることもあるので、スピードが出ず、交通量の少ないところを中心に地域内を回るような車両も1つの案として有効なのではないかと感じました。 しかし、ボランティアドライバー不足も課題となっていますので、地域でどのようにドライバーを集めるか次の課題となってくるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。速度が遅いということは、道路上で走行すると渋滞することもあるということでしょうか。また、結構狭いところや悪路なんかも走行できそうな感じでしたか。</p>
<p>事務局</p>	<p>交通量が多いところを走ると、渋滞してしまう可能性はあります。また、葛飾区で使用している車両の大きさはだいたい軽自動車と同じくらいでした。また、補足ですが葛飾区はドライバー以外に助手席に補助員さんが乗っていて、2人体制で運行していました。</p>

会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>小児 I C 運賃 50 円については、評判はいかがですか。またバス運賃値上げの影響も何かあればお願いします。</p>
委員	<p>小児 I C 運賃 50 円は子育て支援の取組みの 1 つとして令和 5 年 7 月 1 日の運賃改定に先駆けて、令和 5 年 4 月 1 日から実施させていただいております。利用状況は精査には確認できていないのですが、概ね好評であるとの話をいただいています。</p> <p>7 月 1 日からの運賃改定については、乗務員の待遇改善に充てさせていただいてはいるのですが、バスの利用者数に関しては、コロナ以前までは戻っていない中で運賃改定実施というところで、運賃改定の影響で利用者の戻りが悪いのか、原因の判断は難しいところではあります。</p>
会長	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>前回会議の中で、ツインシティ大神経由バス路線の利用状況が需要予測の平日は 45%、土休日は 22% とのお話でしたが、その後の利用状況に変化はありましたでしょうか。</p>
委員	<p>特に大きな変動はなく、路線開設から 1 年ほど経過しましたがほぼ横ばいの状況です。その関連で令和 6 年 1 月 16 日に土日のツインシティ大神～本厚木駅南口便の減便をさせていただいたのですが、便数を減らしても需要の変動は見られないような現状です。</p>
委員	<p>かなちゃん手形やオフピークチケット等の割引制度について、ホームページを見てもなかなか該当ページにたどり着かないと感じました。ホームページを見て一目で該当ページが分かるようにされたらいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>なかなかそういったところが得意でない部分もあるので、そういった割引制度の周知を前面に出しながら、利用者を増やしていくところも重要だと思います。今後の取組みについて検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>ぜひバス利用促進に向けて、ホームページの掲載方法の検討などしていただければと思います。ツインシティに関しては、今後の開発状況や利用状況等を踏まえ、次の展開を進めていければと思います。</p> <p>社会福祉協議会さんからは高齢者の移動等について、現状やお気づきの点がありますか。</p>
委員	<p>今のところ取り立てて、利用者や住民の方から公共交通に関する要望などは聞いておりません。</p>

会長	ありがとうございます。地域内移送支援での福祉施設車両の貸し出し等へのご協力を、今後も積極的にやっていただければと思います。
委員	社会福祉協議会で実施している事業として、障がいをお持ちの高校生を支援学校までボランティアが送迎しているというものはあるのですが、利用者が特定の目的・対象にはなるので、なかなか公共交通と結びつくものではないのかなと思います。
会長	ありがとうございます。それでは次の議題に移りたいと思います。議題2「平塚市自動運転バス実証実験の取組み状況」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料2について事務局から説明)
会長	資料に基づいて説明いただきました。何かご意見ご質問等がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。神奈川中央交通さんとしては、今回の実験の成果はどのようにお考えでしょうか。
委員	自動運転技術が始まって数年経ちますが、神奈川中央交通としても小型の車両からスタートさせ、車両を徐々に大きなものにしていきながら実証実験を実施させていただきました。その中で技術的な進歩を感じますけれども、ソフト面については、さらにもう一步先を見据えた中で突き詰めていかなければいけない所です。遠隔監視室を設置するなど、今後バス乗務員を無人化することを見据えた中でどう運用できるかというところも、今回の実証実験でやらせていただきました。 自動運転レベル4の実現に向けて、平塚駅南口バスロータリーの改修も含めた中で、様々な課題点を1つずつ潰しながら、安全に運行できるように、取組みとして進めさせていただければと思っております。
会長	ありがとうございます。今回の実験で平塚駅南口ロータリーは自動運転で走行したのでしょうか。
事務局	手動運転でやっております。
会長	分かりました。実際の路線バスルートを使用したという事で、一定の効果があつたのではないかと思います。平塚駅南口ロータリーの改修については今後の方向は決まっていますでしょうか。
事務局	平塚駅南口につきましては、現在将来構想というものを策定しておりますので、どこまで部分的に改修をすれば自動運転で運行出来るようになるのかを、神奈川中央交通さんと連携を図りながら各関係団体等と調整を行っているところです。

会長	<p>ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>私も試乗させていただいて、一市民としてご質問があるのですが、資料2の3(4)の自動停車するバス停について、松風公園入口を除くというのは何か理由があるのでしょうか。</p> <p>また4(2)の手動介入の要因について、路上駐車車両に起因する部分が多いとのことですが、今回実証実験への理解や交通管理者による取り締まりによって減ったのかもしれませんが、今後自動運転バスを実運行していく事になると、その部分を大きく減らすというのは難しいのではないかと思います。来年度以降で何か対策とか、バスの精度が上がるとかというところで、解決できる見通しはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>1点目の松風公園入口バス停に自動停車しなかった理由ですが、松風公園入口バス停は交差点に近く、自動停車した場合に課題があるということで県警本部との調整の中で指示があり、今回の実証実験では自動停止バス停から除外したというところです。</p> <p>2点目の路上駐車の関係、かなり大きなウェイトを占める課題かなと考えております。現状自動運転バスのシステム上、1台ぐらいの路上駐車であれば、それを回避して、道路の本線に戻ることができるような状況です。ただ、今回は初めての実証実験という事で、まずは安全面を優先に、路上駐車があれば手動介入するという形で進めました。</p> <p>課題となってくるのは、この路上駐車が複数台または微妙な距離間隔で駐車している時に、どこまでセンサーが対向車線を捉えて安全に路上駐車を回避できるというのがありますので、そこを今後の実証実験の中での課題の1つとしていきたいと考えております。</p>
会長	<p>路上駐車の問題はなかなか難しいと思います。今回の運行ルート上はやはり日ごろから路上駐車は多いのでしょうか。</p>
委員	<p>海岸エリアについては、路上駐車は少ない状況です。取り締まりもですが、自動運転バスが通る事、通常の路線バスに比べ路上駐車が運行に支障をきたすという事を住民に周知し、住民の協力を得ながら駐車車両の排除に努めていきたいと思っております。</p>
事務局	<p>今回の実証実験を実施する上で、平塚警察署さんに事前に情報提供させていただいて、交通の関係のパトロールの強化等、多くのご尽力をいただきまして、本当にありがとうございます。令和6年度以降も引き続き実証実験を進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。</p>

会長	ありがとうございました。実証実験は来年度も実施する予定ですか。
事務局	やっていきたいとは考えています。
会長	自動運転車両は、いまどこに置いてあるのですか。
委員	実証実験期間中にいすゞ様から借用している車両になりますので、既に返却しております。
会長	ありがとうございます。それでは続いて議題3の「その他」ということで、委員の皆様から周知したい事項はございますか。
委員	<p>先ほどから何度か触れている乗務員不足の問題というところで、弊社も例外ではありません。その中で令和6年4月から働き方改革の一環による労働の改善基準告示の変更により1日の労働時間の上限が短くなる事への対応もあり、3月16日に弊社のエリアの約半分の営業所でダイヤ改正を実施しました。平塚営業所、秦野営業所管内の路線に関しては4月1日にダイヤ改正を実施させていただきます。</p> <p>減便によりバスの時刻の間隔が開いてしまったり、今までよりも混雑してしまう感じになってしまったり等があるとは思いますが。地域交通を守る観点で様々な施策を考えていますが、法に基づいた運行計画を行っていかねばならないので、この会議を通じて、今後も情報提供、報告や議論をさせていただければと思いますので、ご承知おきいただければと思います。</p>
会長	ありがとうございます。最近乗務員募集の広告をよく見かけますね。何か効果はありましたでしょうか。
委員	乗務員は数年前から減少傾向にはありまして、今年度も入社よりも退職の方が上回っている現状は、改善されていない状況です。
会長	タクシー業界も同様でしょうか。
委員	<p>そうですね。タクシーも例に漏れずというか、年配のドライバーが多いので、年齢を重ねていって退職される方が多い中で、なかなか若い方は入って来ないというのが現状です。</p> <p>神田交通は、貸切バス事業もやっていますが、そちらも同様です。運転の仕事自体に興味がある方少ないというところもあるとは思いますが。運賃の値上げをすることで給与面の改善を図っているところですので、雇用確保に向けたアピールは引き続きしていきたいと思っております。</p>
会長	ありがとうございます。それでは3、報告事項「平塚市地域公共交通網形成計画の中間評価等」ということで、事務局から報告をお願いいたします。

事務局	<p>平塚市地域公共交通網形成計画の中間評価について、網形成計画は令和元年5月に策定いたしました。計画期間が令和9年度までということになります。中間年度となる概ね5年目を目途に、必要に応じて中間評価を行い、施策や目標値の見直しを検討することとなっています。</p> <p>そのため、来年度、令和6年度に中間評価等を行いまして、その結果に応じて、部分的な見直しというのを検討していきたいと考えております。その際にはまた委員の皆様にお諮りしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは他にご意見が無いようであれば、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>長時間にわたりご審議いただき、また貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。以上をもちまして、令和5年度第2回平塚市地域公共交通活性化協議会を閉会します。</p> <p>今回は、8月頃に開催をさせていただきたいと考えております。開催日が決定しましたら書面等でご連絡させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>